

# 常任委員会

常任委員会は、その所管に属する県の事務に関する調査及び議案、請願などを審査するために設置されています。本県議会においては、総務企画地域振興、厚生労働環境、県民生活商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察の8つの常任委員会が設置されています。今回は次の5つの委員会を紹介します。

(◎印は委員長、○印は副委員長。平成29年5月22日現在)

## 農林水産委員会

農林水産委員会は、農林水産業の生産基盤の整備、農林水産物の生産及び流通の安定、農林水産業生産組織の育成強化、農林水産業関係試験研究機関の整備、農山漁村環境の整備、山地・林地等自然環境の保全、食と農林水産業に係る啓発、農林水産業へのIT導入などについて審査及び調査を行います。



写真向かって  
右から

- |        |       |       |       |       |      |       |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高瀬 菜穂子 | 大城 節子 | 田辺 一城 | 原竹 岩海 | 浦 伊三夫 | 堀 大助 | 田中 秀子 | 井上 忠敏 | 松本 國寛 | 十中 大雅 | 桐明 和久 |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|

## 県土整備委員会

県土整備委員会は、公共用地取得の推進、道路整備事業、河川改修及び河川総合開発の促進、海岸・港湾整備事業、急傾斜地の崩壊防止などについて審査及び調査を行っています。



写真向かって  
右から

- |       |       |       |       |       |       |      |       |       |        |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|
| 吉武 邦彦 | 新開 昌彦 | 佐々木 允 | 今井 保利 | 井上 博隆 | 片岡 誠二 | 吉村 悠 | 松尾 統章 | 吉松 源昭 | 中牟田 伸二 | 香原 勝司 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|

## 建築都市委員会

建築都市委員会は、福岡県住生活基本計画、公営住宅の管理、都市計画、公園、街路の整備、下水道の整備、建築指導行政の推進、県有施設の整備、行政改革などについて審査及び調査を行っています。



写真向かって  
右から

- |       |      |      |       |      |       |       |       |       |       |      |
|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 津田 公治 | 栗原 渉 | 樋口 明 | 江藤 秀之 | 長 裕海 | 高橋 雅成 | 野田 稔子 | 中村 誠治 | 松下 正治 | 山口 律子 | 古川 忠 |
|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|

## 文教委員会

文教委員会は、教育改革推進方策、社会の変化に対応した教育の改善、充実、教職員の定数、給与及び勤務条件の改善、県立教育施設の充実、学校週五日制の弾力的な実施、生涯学習の充実、保健体育・スポーツの振興、文化財の保護、私学振興、青少年の健全育成、学校や地域社会における児童生徒の安全対策などについて審査及び調査を行っています。

## 警察委員会

警察委員会は、暴力団犯罪の取締り、少年の非行防止及び健全育成対策、交通指導取締り対策及び交通安全施設の整備、警察施設及び装備の整備、風俗営業等取締り対策、麻薬及び密貿易取締り対策、警察署の管轄区域などについて審査及び調査を行っています。



写真向かって  
右から

- |      |        |       |       |      |       |       |       |        |       |
|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 神崎 聡 | 仁戸田 元氣 | 大橋 克己 | 原田 博史 | 大田 満 | 川端 耕一 | 加地 邦雄 | 中尾 正幸 | 伊豆美 沙子 | 森下 博司 |
|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|-------|



写真向かって  
右から

- |      |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 林 裕二 | 野原 隆士 | 原口 剣生 | 藏内 勇夫 | 松尾 嘉三 | 渡辺 勝将 | 吉村 敏男 | 富田 徳二 | 小池 邦弘 | 浜崎 達也 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

## 県議会への請願と陳情について

### 請願

請願とは、県議会に対し、住民の方々が要望や意見を述べ、採決、採択、不採択、あるいは継続審査の決定を行います。採択された請願は必要に応じて、国などに意見書を提出したり、知事などに対して、その処理経過及び結果の報告を求めると、要望や意見の実現に向けて処理します。なお、県議会議員の紹介を必要とします。提出に当たっては、定められた様式により、必要事項を記載し、署名または記名押印のうえ、県議会議員の紹介を経て、議長宛て提出してください。

### 陳情

陳情(要望書、要請書、決議書、嘆願書なども含む)とは、請願と同様に、県議会に対し、住民の方々が要望や意見を述べ、採決は行いませんが、住民の方々の要望や意見を県の政策に反映させるため、関係の委員会に回付され、必要に応じて質疑が行われます。提出に当たっては、請願と同様、必要事項を記載し、署名または記名押印のうえ、議長宛て提出してください。

### 請願の流れ



県議会の最近の取り組みについて、その一部の概要を紹介します。

## 決算特別委員会の 審査概要

### 審査の概要

審査に当たっては、二元代表制の趣旨を踏まえ、県政の重要課題を中心に活発な議論が交わされました。主な内容は次のとおりです。

- 県税徴収対策について
- 災害対策について（防災通信ネットワークの整備について、県営河川の総合整備計画についてなど）
- 地域活性化について（世界遺産を地域活性化につなげていく取り組みについて）
- 保健医療施策について（難病患者の支援について、緊急医療電話相談事業の広報についてなど）
- 環境問題について（県リサイクル総合研究事業化センターの共同研究成果の事業化とその課題についてなど）
- 農林水産施策について（中山間地域の農業振興について、水産業の振興についてなど）

9月定例会において設置された決算特別委員会では、付託された「平成28年度福岡県一般会計決算」など20件の議案について、9日間の日程で審査が行われました。



決算特別委員会の審査風景

## 県議会の動き



○ 商工施策について（水素事業の地場企業への波及効果と事業継続の是非について、中国人観光客の誘客についてなど）

○ 教育行政について（県立学校施設の老朽化に伴う生徒の安全確保について、性感染症予防教育についてなど）

このほかにもさまざまな課題について活発な質疑が行われました。

### 審査の結果

付託された20件の議案について、委員会の最終日に採決が行われ、いずれの議案も認定、または原案可決及び認定されました。

同委員会の構成メンバーは次のとおりです。		
中尾 正幸	小池 邦弘	田中 秀子
長 裕海	吉松 源昭	塩川 秀敏
栗原 涉	津田 公治	桐明 和久
伊豆美沙子	香原 勝司	松尾 嘉三
吉村 悠	井上 博行	片岡 誠二
大田 満	中村 誠治	原中 誠志
井上 博隆	仁戸田元氣	野田 稔子
大田 京子	佐々木 允	森下 博司
大城 節子	高橋 雅成	松下 正治
神崎 聡	梶島 徳博	江口 善明
山口 律子		

（○印は委員長、●印は副委員長  
平成29年9月22日現在）



## 第37回全国豊かな海づくり大会 福岡大会

10月28日・29日、天皇后陛下の御臨席を仰ぎ、「第37回全国豊かな海づくり大会 福岡大会」が宗像市の宗像ユリックスなどで開催され、樋口議長が主催者の一人として出席しました。

29日に開催された式典行事では、全国から多くの関係者をお迎えし、本県が誇る豊かで美しい自然や新鮮でおいしい水産物などを全国にアピールすることができました。

県議会といたしましても、この大会を契機として、県行政と一体となって水産資源の維持・管理と、環境・生態系の保全とともに、本県の水産業の振興に努めてまいります。



式典行事にて大会旗の受け取り

両陛下は式典のほか、7月に世界文化遺産に登録された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産の一つである宗像大社や、環境・エネルギー分野の取り組みを紹介している北九州市エコタウンセンターなどを訪問されました。

### 北九州市エコタウンセンター



（※第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会の詳細は、特集ページをご覧ください。）



古代の銅鏡、勾玉などの御見学

（※第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会の詳細は、特集ページをご覧ください。）

## 第72回国民体育大会 福岡県選手団

9月30日、第72回国民体育大会「2017愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」の総合開会式が愛媛県総合運動公園陸上競技場で開催され、樋口議長をはじめ、川端耕一文教委員会委員長、加地邦雄スポーツ議員連盟会長などが出席しました。

開会式に先立ち福岡県選手団の現地結団式が行われ、樋口議長は、「いよいよ、本日より『愛顔つなぐえひめ国体』が始まります。この国体で、日々のためめ努力により培われた実力を、思う存分に発揮していただき、好成績を収められることを期待しています」と述べ、選手の方々に激励しました。



総合開会式では、福岡県選手団は今年7月の九州北部豪雨災害に対する支援へのお礼の横断幕を掲げ、入場行進を行いました。大会は10月10日まで行われ、本県選手団は男女総合（天皇杯）9位の成績でした。

## 関係省庁などへの 提言・要望

11月9日、樋口議長は小川洋知事とともに、地元選出の国会議員へ県政の重要課題について説明し、理解を求めるとともに、内閣府や環境省など関係省庁を訪問し、九州北部豪雨災害に係る被災地支援のための予算措置や「子ども・子育て支援」の充実・強化、地方創生の実現に向けた国・地方一体となった取り組み、福岡空港・北九州空港の機能強化及び連携強化など、本県の県政推進のため提言・要望を行いました。



中川環境大臣への要望活動

## 全国都道府県議会議長会

10月26日、第158回全国都道府県議会議長会定例総会が熊本市で開催され、樋口議長が出席しました。

総会では、「地方税財源の充実確保に関する決議」、「平成28年熊本地震」からの復旧・復興に関する決議」などの決議ならびに、「平成30年度政府予算編成に関する提言」など9件の議案について審議が行われ、採決の結果、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

また、熊本地震により甚大な被害を受けた熊本城の復旧状況の視察のほか、自治功労者として、全国の都道府県議会議員422人の表彰が行われ、本県議会からは、自民党県議団の吉原太郎議員と藏内勇夫議員が在職30年以上として表彰されたほか9人の議員が受章しました。